

熊本県の農林水産業

九州農政局熊本県拠点

令和7年11月

はじめに

熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれており、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川（きくちがわ）、球磨川（くまがわ）などの一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれています。

また、三方を山に囲まれているため、天草地方を除いて、全体的に内陸性気候であり、年平均気温は熊本市で17°C前後、阿蘇地方で13°C前後、年間降水量は平地で約2,000mm、山地で約3,000mmとなっています。

さらに、日本最大の干潟を有する有明海、内湾で東シナ海に湾口を開く八代海、対馬暖流に面する天草灘の3海域を有しています。

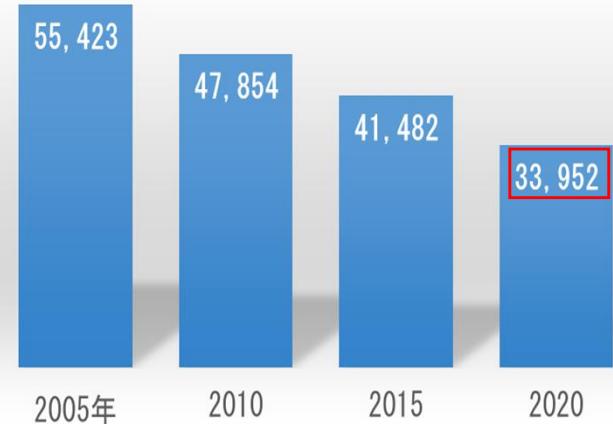
この豊かな自然の恵みを背景に、農業では、米・野菜・果樹・畜産をはじめ多彩な農畜産物が、林業では、すぎやひのきの木材や、しいたけなどの特用林産物が生産されています。水産業では、3海域の特徴を活かした養殖業や、漁船漁業が盛んに行われています。

目 次

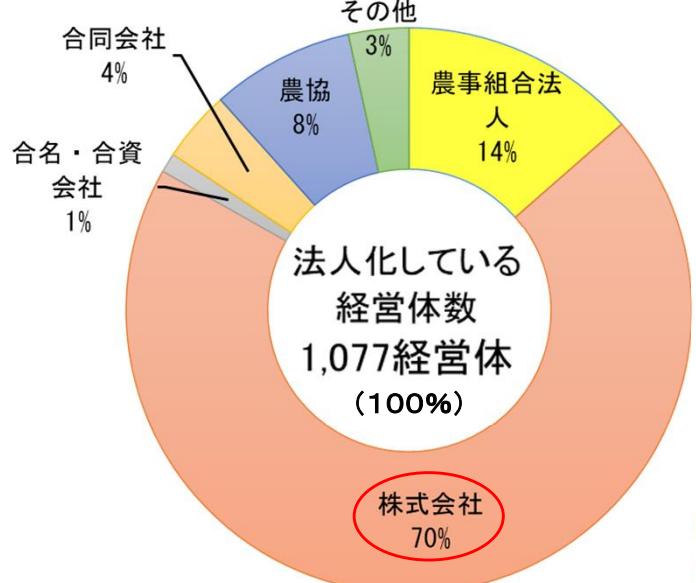
◆ 農林業センサスで見る熊本県の農業	• • • • •	1
◆ 農業産出額で見る熊本県の農業	• • • • •	3
◆ データで見る熊本県の農林水産業	• • • • •	5
◆ 食材の宝庫くまもと	• • • • •	7
◆ 「くまもとの赤」ブランドの農林水産物	• • • • •	8
◆ 「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョン	• • • • •	9
◆ 熊本県産の農林畜水産物等を海外へ	• • • • •	10
◆ (参考)熊本県産農林畜水産物等の輸出実績推移	• • • • •	11
◆ 6次産業化にチャレンジしている農林漁業者	• • • • •	12
◆ 熊本県の地理的表示（GI）登録產品	• • • • •	13
◆ 熊本県内のスマート農業実践事例	• • • • •	14

農林業センサスデータで見る熊本県の農業

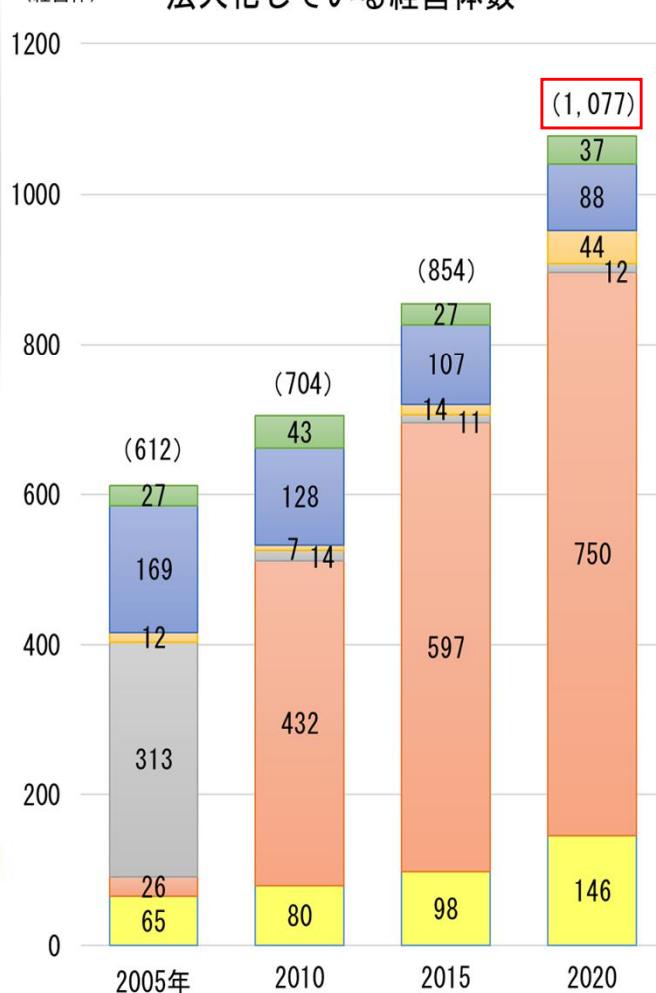
熊本県の農業経営体の推移



**法人化している経営体数
1,077経営体 (100%)**



法人化している経営体数



■ 農事組合法人 ■ 株式会社 ■ 合名・合資会社
■ 合同会社 ■ 農協 ■ その他

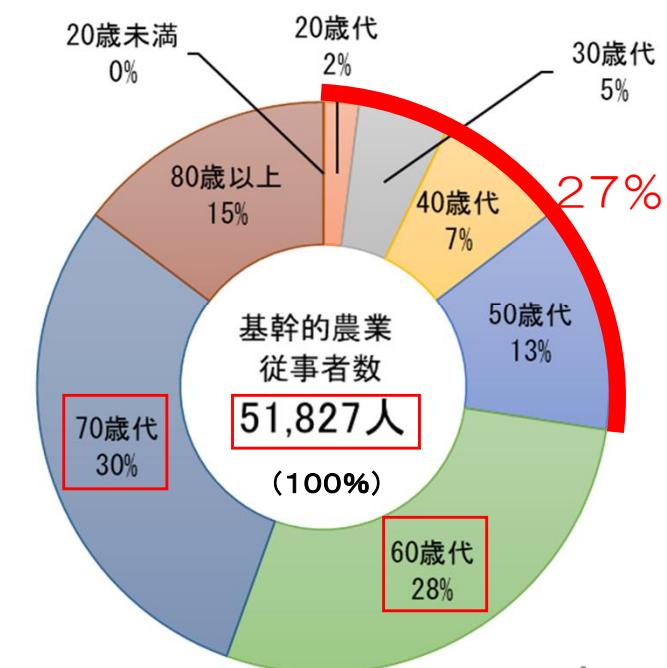
◆ 熊本県の農業経営体は、33,952経営体で15年前に比べ約4割減少しています。

◆ 法人化している経営体は、1,077経営体で、そのうち70%が株式会社となっています。

◆ 認定農業者数（県、市町村）は9,913経営体で全国3位、基幹的農業従事者数は51,827人で全国4位となっています。
(以上、5ページ参照)

◆ 基幹的農業従事者の年齢別割合は70歳代が30%、60歳代が28%で、50歳代以下は27%となっています。

基幹的農業従事者の年齢別割合

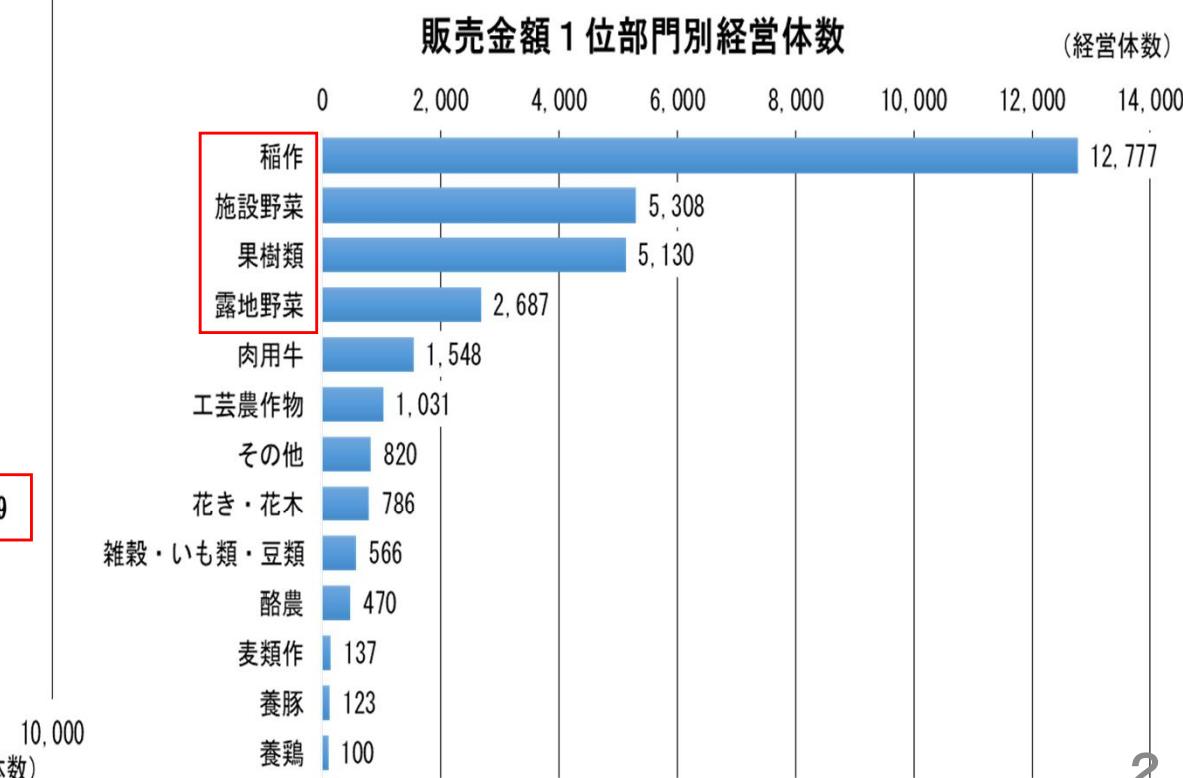
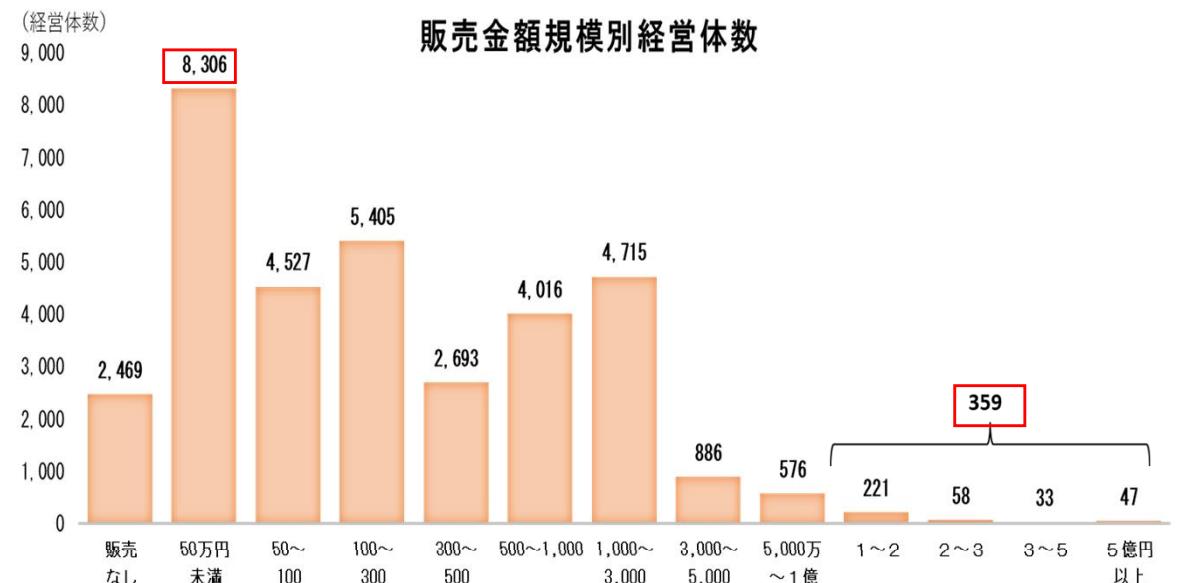
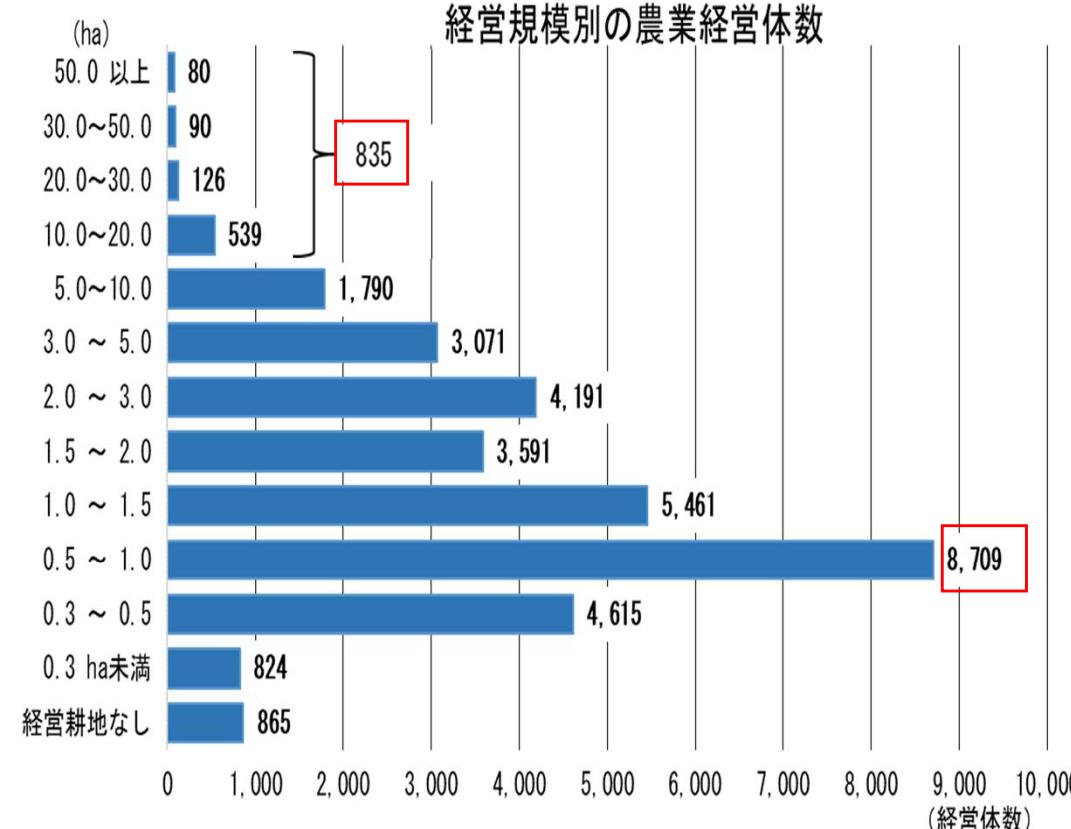


資料：農林水産省「農林業センサス」

◆経営規模別の農業経営体数は、0.5~1.0haの階層が最も多く、10ha以上の経営体は、835経営体となっています。

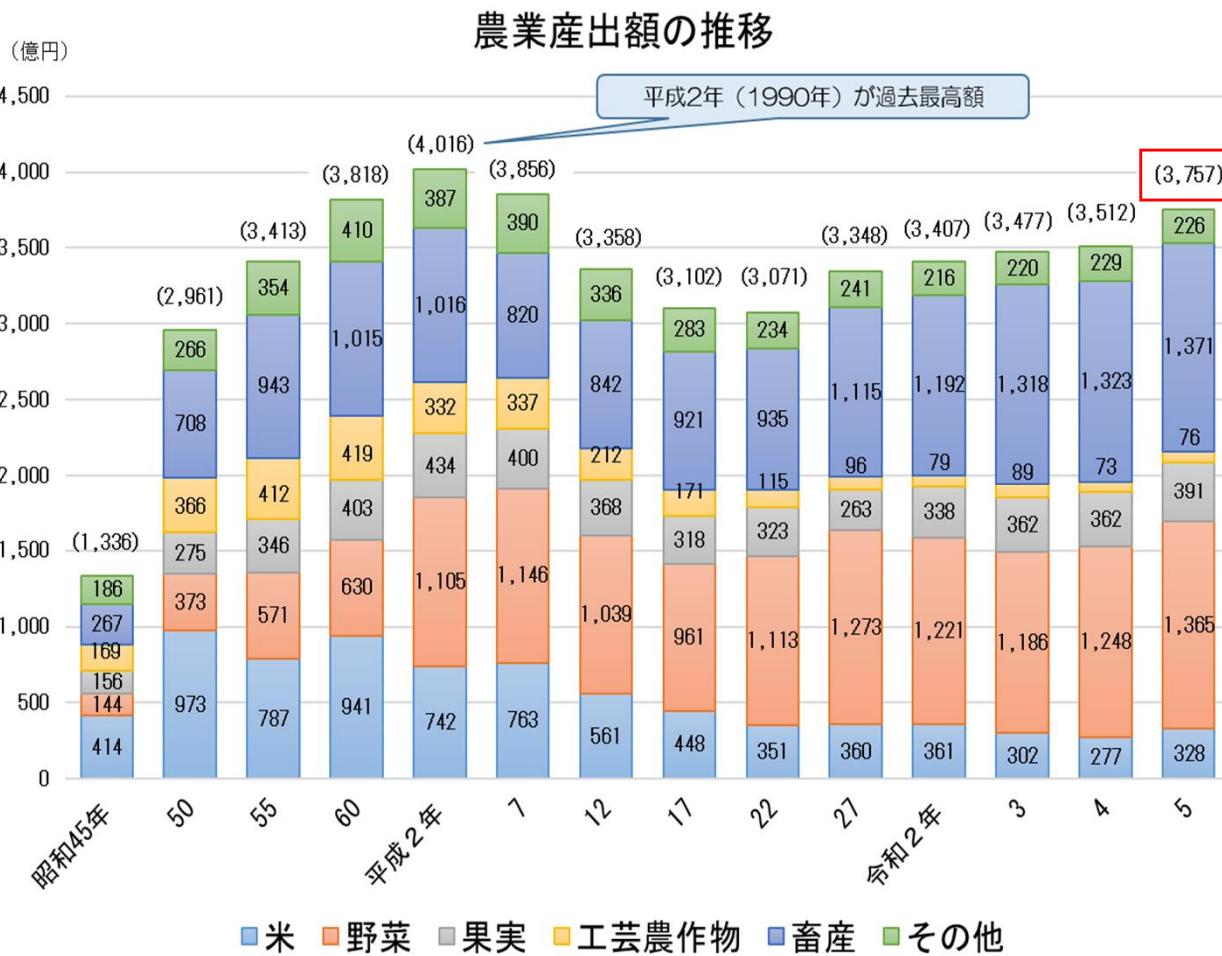
◆販売金額規模別経営体数は、50万円未満が最も多く、1億円以上の経営体は359経営体となっています。

◆販売金額1位部門では、稻作が最も多く、施設野菜、果樹類、露地野菜の順となっています。

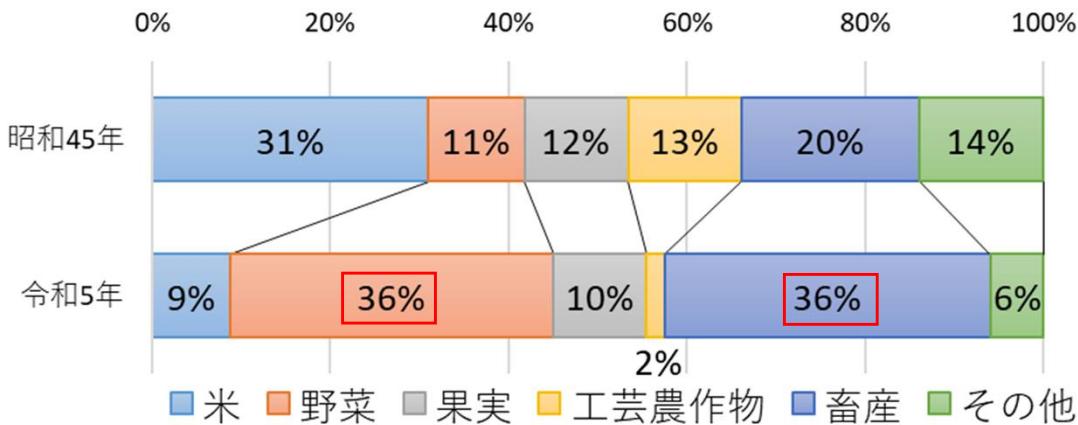


農業産出額で見る熊本県の農業

- ◆令和5年の熊本県の農業産出額は、3,757億円（対前年増減率7.0%増）で全国で5位となっています。
- ◆部門別の構成割合では、野菜、畜産がそれぞれ36%を占め高い割合となっています。
- ◆品目別の構成割合では、肉用牛が11.6%と最も多く、次いでトマト10.6%、米8.7%となっています。



部門別割合の動き



熊本県における農業産出額ベスト10

県内順位 (全国順位)	1位 (4位)	2位 (1位)	3位 (16位)	4位 (3位)	5位 (11位)
熊本県 3,757億円 (全国5位)	肉用牛 435 (11.6)	トマト 400 (10.6)	米 328 (8.7)	生乳 317 (8.4)	豚 265 (7.1)
(構成比%)					
6位 (4位)	7位 (3位)	8位 (21位)	9位 (2位)	10位 (1位)	
みかん 191 (5.1)	いちご 160 (4.3)	鶏卵 146 (3.9)	メロン 127 (3.4)	すいか 118 (3.1)	

資料：農林水産省「令和5年農業産出額」

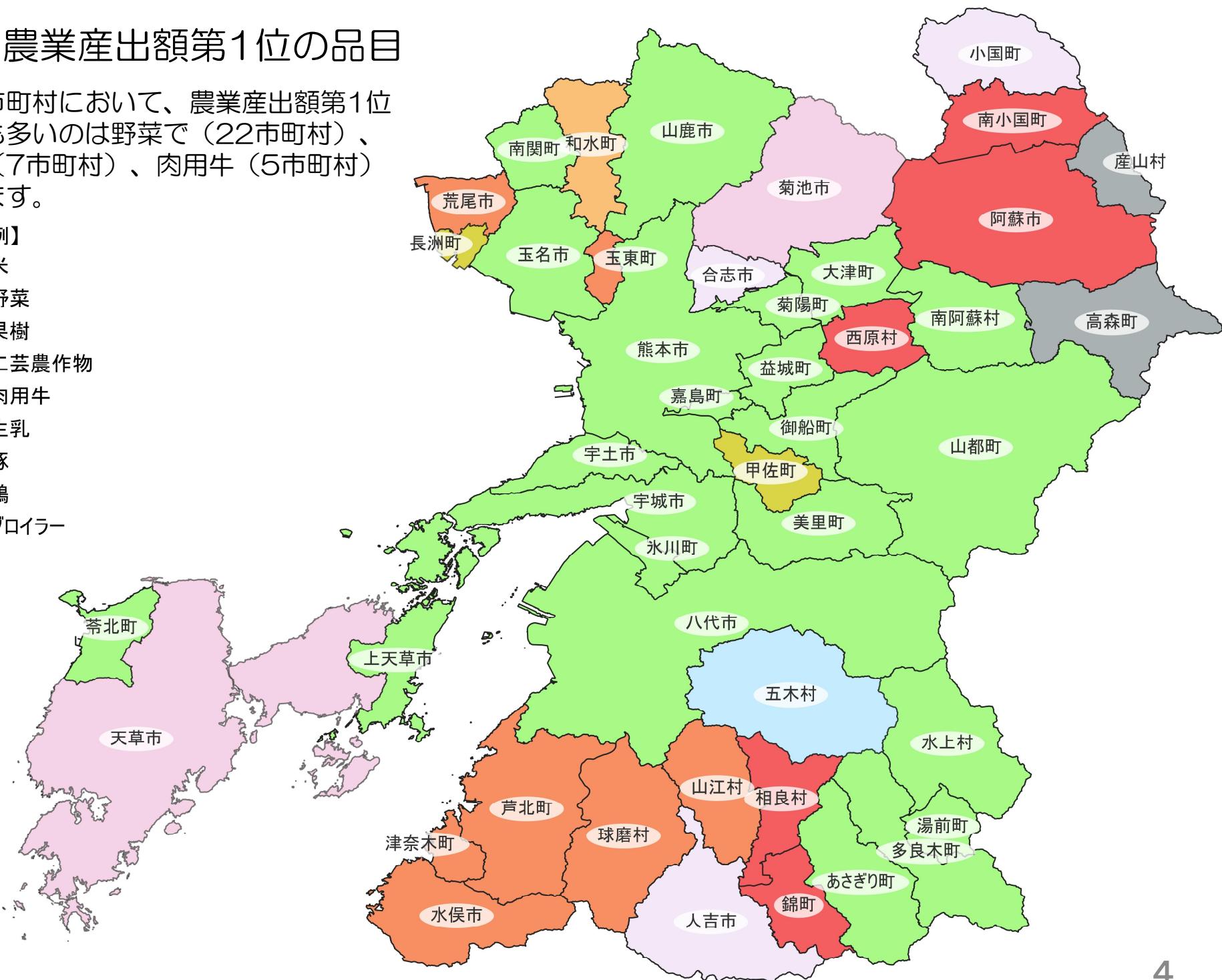
資料：農林水産省「令和5年農業産出額」

市町村別農業産出額第1位の品目

熊本県内の市町村において、農業産出額第1位の品目で最も多いのは野菜で（22市町村）、次いで果樹（7市町村）、肉用牛（5市町村）となっています。

【凡例】

- 米
 - 野菜
 - 果樹
 - 工芸農作物
 - 肉用牛
 - 生乳
 - 豚
 - 鶏
 - ブロイラー



データで見る熊本県の農林水産業

耕地面積

区分	熊本県	全国	全国順位
耕地面積	103,300 ha	4,272,000 ha	14
田	63,800 ha	2,319,000 ha	13
畑	39,500 ha	1,952,000 ha	9
普通畑	22,600 ha	1,118,000 ha	14
樹園地	12,300 ha	248,600 ha	6
牧草地	4,560 ha	585,900 ha	6
参考) 総土地面積	7,409.19 km ²	377,975.68 km ²	15

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」
(国土交通省国土地理院)

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	熊本県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	51,827 人	1,363,038 人	4
男	30,444 人	822,144 人	4
女	21,383 人	540,894 人	5
65歳以上	31,780 人	948,621 人	7
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.3 %	69.6 %	-
認定農業者数	9,913 経営体	216,227 経営体	3
法人数	1,119 法人	28,810 法人	4
参考) 総人口数	1,738,301 人	126,146,099 人	23

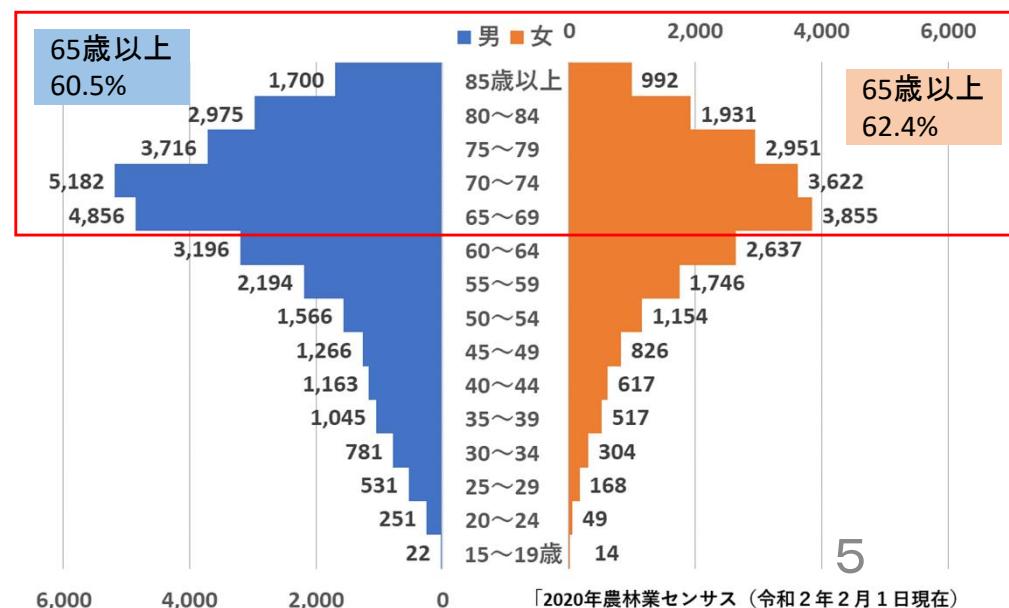
出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	熊本県	全国	全国順位
農業経営体数	33,952 経営体	1,075,705 経営体	9
法人経営体	1,077 経営体	30,707 経営体	5
総農家数	47,879 戸	1,747,079 戸	13
販売農家	32,529 戸	1,027,892 戸	8
参考) 世帯総数	719,154 世帯	55,830,154 世帯	24
集落営農数	385 集落営農	13,998 集落営農	16

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和6年2月1日現在)」

男女別年齢構成別基幹的農業従事者数(人)
熊本県



林野面積

「*」:秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位、

区分	熊本県	全国	全国順位
林野面積	466,250 ha	24,770,201 ha	18
国有林	62,968 ha	7,153,338 ha	17
民有林	403,282 ha	17,616,863 ha	18
人工林面積	278,846 ha	10,133,111 ha	9

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区分	熊本県	全国	全国順位
林業経営体数	1,255 経営体	34,001 経営体	7
法人経営体	110 経営体	4,093 経営体	12

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区分	熊本県	全国	全国順位	
素材生産量	922 千m³	20,647 千m³	7	
針葉樹	895 千m³	18,926 千m³	6 *	
ひのき	280 千m³	3,180 千m³	1 *	
すぎ	615 千m³	11,917 千m³	5	
広葉樹	27 千m³	1,721 千m³	14 *	
乾しいたけ	生産量	186 t	1,816 t	3
生きくらげ類	生産量	112 t	1,680 t	2 *
たけのこ	生産量	1,578 t	16,528 t	4 *
黒炭	生産量	382 t	3,416 T	3 *

出典:「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林業産出額

区分	熊本県	全国	全国順位
林業産出額	164.4 億円	5,562.5 億円	7
木材生産	144.1 億円	3,257.0 億円	4
栽培きのこ類生産	19.2 億円	2,199.2 億円	24

出典:「令和5年林業産出額」

漁業経営体数

区分	熊本県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	2,166 経営体	65,662 経営体	10
内水面漁業経営体数	65 経営体	4,078 経営体	21

出典:「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	熊本県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	4,121 人	121,389 人	9
男	3,299 人	109,757 人	12
女	822 人	11,632 人	5

出典:「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	熊本県	全国	全国順位
漁船隻数	4,006 隻	109,283 隻	8
動力漁船	2,262 隻	58,906 隻	9

出典:「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	熊本県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	60,242 t	3,777,921 t	17 *
海面漁業漁獲量	12,378 t	2,926,411 t	32
このしろ	364 t	4,099 t	2 *
たちうお	465 t	5,420 t	3
海面養殖業収穫量	47,864 t	851,509 t	7 *
まだい	9,386 t	67,257 t	2
くるまえび	246 t	1,332 t	3 *

出典:「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業産出額

区分	熊本県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	436 億円	16,578 億円	11

出典:「令和5年漁業産出額」

食材の宝庫くまもと

豊かな自然が生み出す多彩な農林水産物

熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれ、地下水など水資源にも恵まれています。天草地方を除いて全体に内陸性気候で、温かい沿岸部、夏と冬の寒暖差が厳しい地域、冷涼な山間部があります。降水量が多いことも特徴です。変化に富んだ地形や気候に合わせて、多彩な農林水産物が生産されています。

〈イラストの凡例〉

米	メロン	たまねぎ	れんこん
トマト	きゅうり	アスパラガス	ごぼう
ミニトマト	いちご	しょうが	かんしょ
なす	キャベツ	にんじん	温州みかん
すいか	レタス	だいこん	甘夏みかん
河内晩柑	肉用牛	たけのこ	不知火類(デコポン)
晩白柚	乳用牛	あさり	まだい(養殖)
なし	豚	たちうお	くるまえび(養殖)
くり	天草大王	このしろ	ふぐ類(養殖)
茶	しいたけ	のり(養殖)	しまじ(養殖)
			まあじ(養殖)



資料：熊本県「熊本食材ガイド」より

「くまもとの赤」ブランドの農林水産物



あか牛



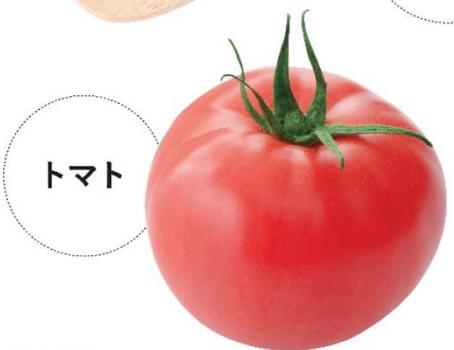
いちご



しいたけ



馬肉



トマト

くまもとには、 「おいしい」赤がある。

RED BRAND of KUMAMOTO

くまもとの赤®

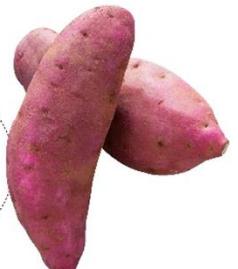


天草
大王

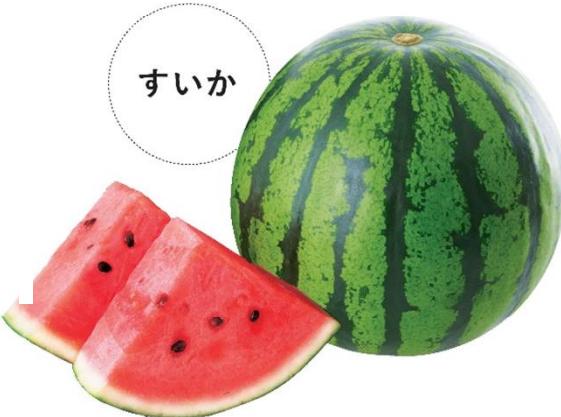


まだこ

かんしょ
(さつまいも)



古来より「火の国」と呼ばれてきたくまもと。
真っ赤なトマトやすいかに、阿蘇のあか牛、
熊本名物の馬肉やくるまえび…などなど。
熊本県では、火の国くまもとの“赤”をまとった農林水産物を
「くまもとの赤」ブランドとして発信しています。



すいか



まだい



馬肉



くるま
えび

資料: 熊本県「熊本食材ガイド」より

古来より「火の国」と呼ばれてきたくまもとでは、豊かな自然とその地形や気候を活かして、たくさんの農林水産物が生産されています。真っ赤なトマトやすいかに、阿蘇のあか牛、新鮮な赤いマダイやクルマエビ…など。
くまもとの農林水産物は、まさに火の国くまもとの“赤”をまとった大自然の美味たちです。
熊本県では、そんなくまもとの大自然の豊かな味わいを「くまもとの赤」ブランドとして全国へ発信しています。



熊本県では、県産農林畜水産物の高付加価値化と販路拡大等を強力に推進していくため、「『食のみやこ熊本県』創造推進ビジョン」を令和7年7月に策定しました。（熊本県HPより）



「食のみやこ熊本県」創造推進ビジョン（概要版）

目指す姿

熊本の食で世界を魅了し、農・食関連産業が活性化しながら県民が豊かになる

ビジョン策定の主旨

- 農・食関連産業は生産・加工・流通から観光業まで裾野が広く、雇用の創出や経済発展に大きく寄与する重要な産業。
- 日本の食を支える本県のポテンシャルを最大限に活用し、関係者が一丸となって農林畜水産物等の高付加価値化や販路拡大を推進していくため、その道標となるビジョンを策定するもの。

熊本の農林畜水産業の現状

- 農業産出額全国5位／生産農業所得全国2位
- バランスよく多彩な営農（野菜、畜産、果実等）
- 首都圏等へ多くの農産物を流通・販売
- 農林畜水産物の輸出額過去最高を更新

農と食を取り巻く情勢と課題

【農と食を取り巻く情勢】

- 担い手の減少や高齢化
- 生産資材価格、輸送コスト等の高騰
- 地産地消行動の低下、県民の食関心度の不足
- 「食」のイメージ、認知度の不足
- 国内外からの観光客の増
- 世界の食関連市場規模の拡大



（ビジョン策定に向けた課題）

- 県民の食関心度の向上（地産地消、食育）
- 高付加価値化（6次産業化・ブランド戦略）
- 販路拡大に向けたPRの強化
- 観光客の食の消費拡大（レストラン等の充実）
- 輸出の拡大
- 農・食関連産業の集積

方針及び取組み



1 熊本の「食」の基盤の構築

～県民が熊本の食の豊かさを知る・食でつながる～

- 1-1 「食」への関心度・理解の醸成
- 1-2 食の関係者によるネットワークの構築
- 1-3 地産地消の推進
- 1-4 食育・食文化の継承



2 高付加価値化と消費拡大

～熊本の食を買いたくなる・訪ねたくなる～

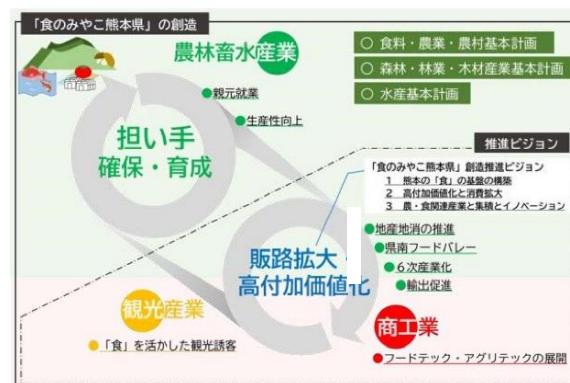
- 2-1 6次産業化（加工・新商品開発）の推進
- 2-2 認知度向上と販路開拓
- 2-3 食をフックとした観光誘客の推進
- 2-4 食の魅力向上につながる料理人の育成
- 2-5 輸出拡大支援と海外での認知度向上
- 2-6 官民による食を消費する機会の創出



3 農・食関連産業の集積とイノベーション

～食を起点とした新産業が活性化する～

- 3-1 地域内生産物を活かす企業・研究開発機能等の集積（県南フードバーレーステージ2の展開）
- 3-2 産学官連携によるフードテック・アグリテックの展開



推進体制

関係機関連携による推進体制を構築

重点7項目のプロジェクト



1 くまもとの「食」県民運動！

・SNSで期間ごとに1品目に絞ったPRや県内の「食」が集結するイベントを開催し、食への理解・関心を醸成。



2 オンラインによる販売強化！

・大都市圏でのフェア開催や展示会への出展などの取組みと並行して、ECによる流通・販売網を強化。



3 来なっせ 食べなっせ くまもと！

・熊本の「食」コンテンツの磨き上げとPRを強化し、「食」による観光誘客と観光消費額を増加。



4 情報発信力のある料理人の育成！

・県産食材の高付加価値化と消費拡大を図るため、県産食材を活かし、魅力を発信する料理人を育成。



5 ブルーオーシャンへの輸出開拓！

・輸出拡大に向けて、市場調査やテストマーケティングを実施し、次なる市場（新規国）を開拓。



6 くまもと県南フードバーレーステージ2！

・県南の食文化を活かした商品開発支援と、食品関連企業の育成と誘致に取り組み、県南地域を活性化。



7 熊本発フードテックの展開！

・先端技術を活用し、食の可能性を広げるフードテックの取組みを支援し、優良事例を創出。

対象期間

R7～R9年度とし、『くまもと新時代共創総合戦略』及び『食料・農業・農村基本計画』等の具体的施策として位置づけ。

熊本県産の農林畜水産物等を海外へ

令和6年度の熊本県産農林畜水産物等の輸出額は、151億4千万円対前年度比124%で過去最高となっています。

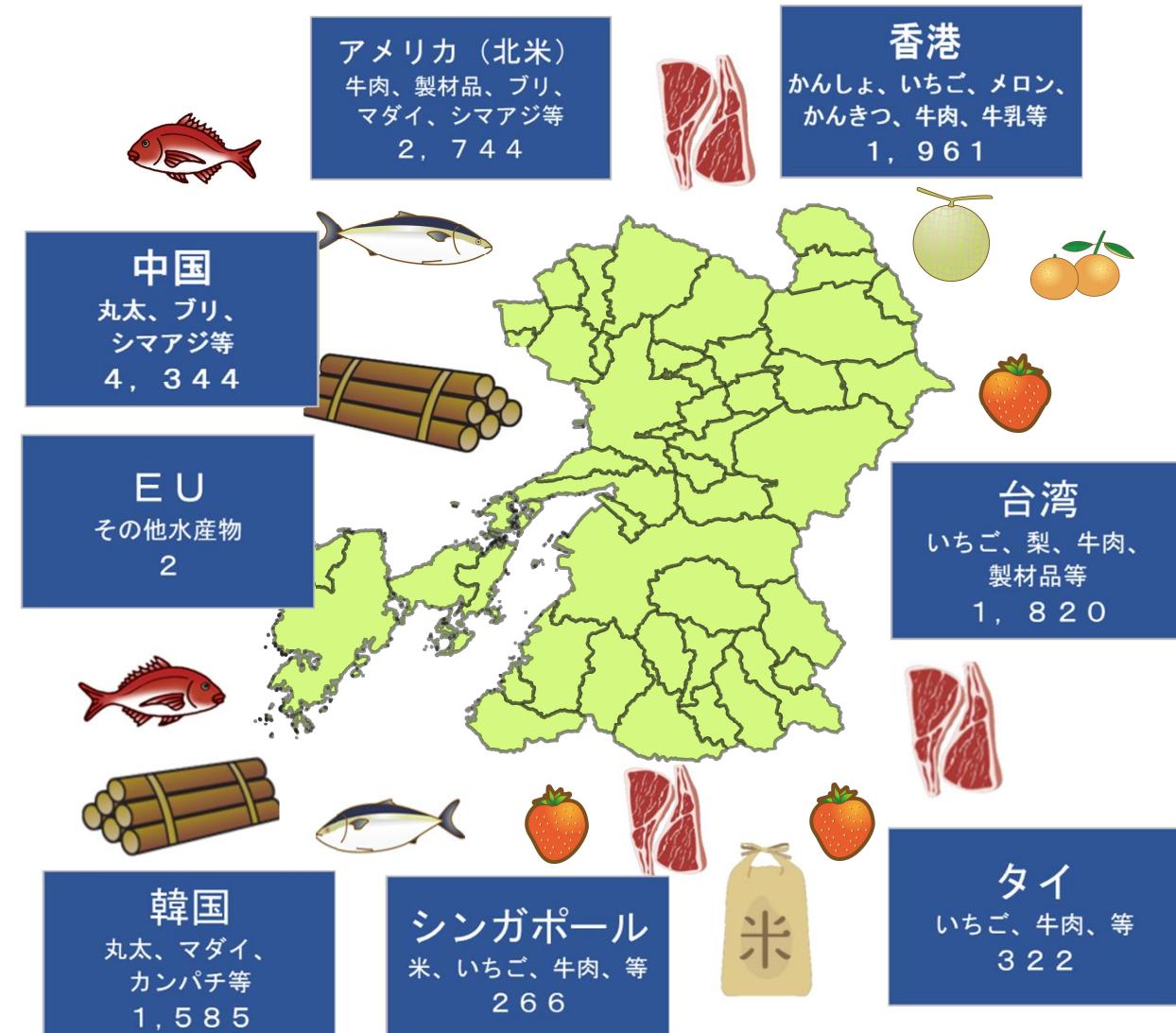
○品目ごとの輸出額

	令和5年度	令和6年度	前年度比
輸出額計	122.4億円	151.4億円	124%

各部門の輸出額

区分	令和5年度 (百万円)	令和6年度 (百万円)	前年度比 (%)
農畜産物	米	29	35
	かんしょ	18	22
	いちご	644	603
	梨	18	7
	メロン	70	74
	かんきつ	40	39
	牛肉	2,824	3,948
	牛乳	175	153
	その他の農畜産物	229	259
	加工食品(酒類含む)	1,372	1,956
林産物	合計	5,419	7,095
	丸太	3,505	4,491
	製材品	392	328
水産物	合計	3,898	4,819
	ブリ	1,064	1,384
	マダイ	1,315	1,286
	シマアジ	253	249
	カンパチ	183	229
	その他	106	83
合計		2,922	3,232
前年度比		131%	111%

主な輸出先国・地域別の主要品目と輸出額（百万円）

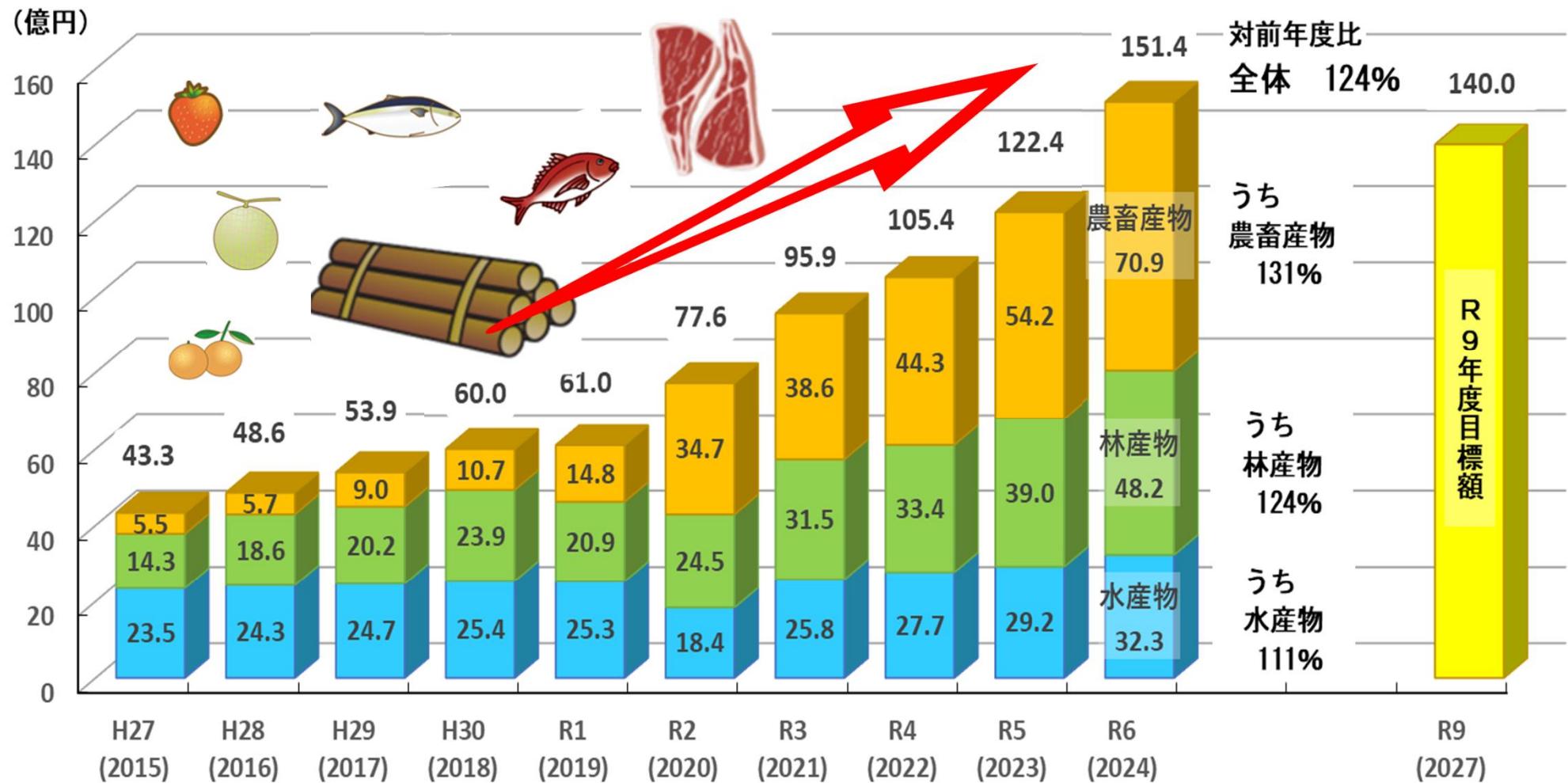


注意: 主な輸出先国・地域別の輸出額は、主要品目の輸出額

資料: 熊本県「令和6年度(2024年度)熊本県産農林畜水産物等の輸出額実績」

(参考) 熊本県産農林畜水産物等の輸出実績推移

- 令和6年度の県産農林畜水産物の輸出額は、前年比24%増の151.4億円
- 農畜産物・林産物・水産物全ての輸出額が増加し、最高額を更新
- 令和9年度目標額140億円を達成。



〈品目別輸出額〉

- ・農畜産物：台湾、香港、アメリカ、向けの牛肉や台湾、香港、向けのいちごなど 約71億円
- ・林 産 物：中国、韓国、向けの丸太やアメリカ、向けの製材品など 約48億円
- ・水 産 物：北米、アジア、向けの養殖ブリなど 約32億円

6次産業化にチャレンジしている農林漁業者

○農林漁業の6次産業化とは、農林漁業者（1次産業）と、2次産業（工業・製造業）・3次産業（販売業・サービス業）との総合的かつ一体的な推進を図り、農山漁村の豊かな地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取組です。令和4年度からは、6次産業化にとどまらない「農山漁村発イノベーション」に発展させ、地域の文化・歴史や森林、景観など農林水産物以外の多様な地域資源も活用して、農林漁業者はもちろん、地域の企業なども含めた多様な主体の参画によって新事業や付加価値の創出を図る取組を推進しています。

○熊本県内では、6次産業化・地産地消法に基づく総合化事業計画の認定事業者数は93件（令和7年1月31日現在）です。

＜市町村別の認定事業者件数＞

（令和7年1月31日現在）

市町村	総合化事業計画認定数	農畜産	林産	水産
熊本市	13	13		
八代市	4	4		
人吉市	1		1	
玉名市	2	2		
天草市	8	2	1	5
山鹿市	4	3	1	
菊池市	5	4	1	
上天草市	5	1	1	3
宇城市	4	4		
阿蘇市	4	4		
合志市	7	7		
和水町	1	1		
南関町	2		2	
大津町	6	6		
菊陽町	1	1		
南小国町	2	2		
小国町	3	3		
産山村	1	1		
南阿蘇村	4	4		
西原村	1	1		
御船町	1	1		
益城町	4	4		
山都町	2	1	1	
芦北町	1	1		
あさぎり町	2	1	1	
湯前町	1		1	
相良村	1	1		
苇北町	3	3		
熊本県計	93	75	10	8

＜優良事例＞

② 株式会社パストラル

＜取組内容＞

自社生産の栗・米等を活用した洋菓子を製造し、自社直営のカフェ兼洋菓子店「ricca」で販売。地域で生産された農産物を原材料にしたアイスの製造事業による地域雇用の創出と里山農業の発展。

＜今後の展望＞

- ・酒米を生産し地元の酒蔵と協働で地酒の普及に挑戦。
- ・「ricca」を起点に、地域食材を使用した料理教室や里山ワークショップを開催し、農村と都市をつなぐ商品開発やコトづくりを推進。
- ・地域の宿泊施設・飲食店と連携し、収穫体験などの里山資源を活用した体験型農業を創出し山鹿市に人を呼び込む。

① 株式会社オオヤブディリーフーム

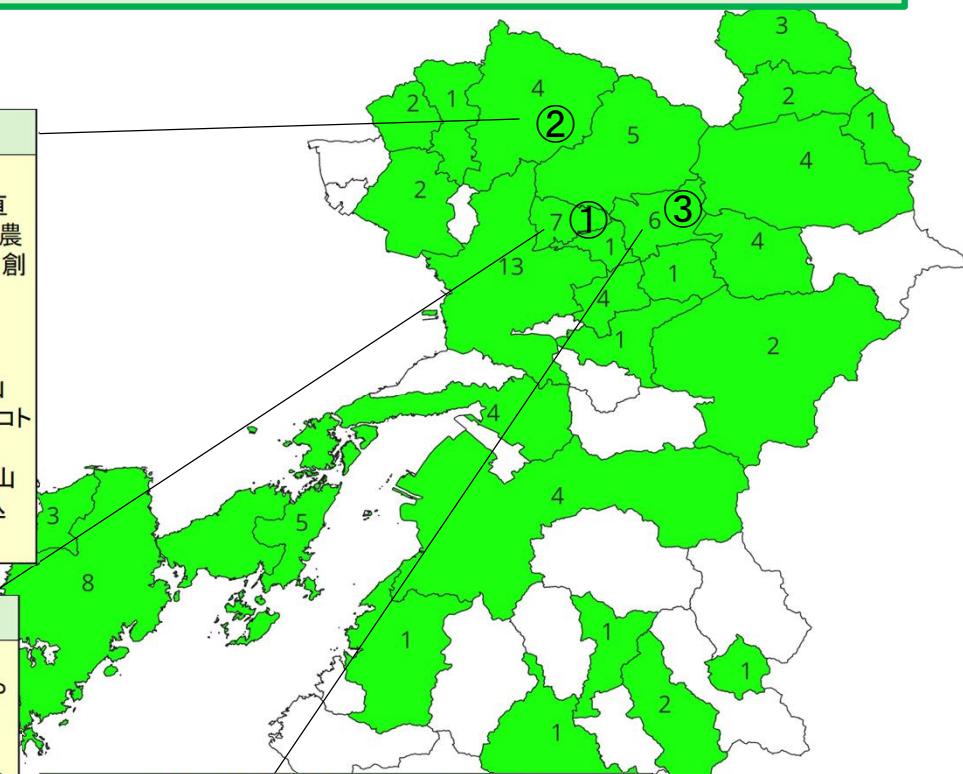
＜取組内容＞

オメガ3脂肪酸が豊富な自家生乳を生かしたヨーグルトやジェラートの製造・販売事業。

＜今後の展望＞

- ・食品加工業者やシェフと連携し、自社生乳やヨーグルトを原料とした嗜好品・総菜を開発し、乳や肉が更に輝く舞台を追求、選ばれる商品の提案を行う。
- ・子供たちが遊びながら学べる場を整備し、教育ファームとしての活動を拡充する。
- ・自社と地域発展のため雇用を増やすとともに、主体性を持つ人材育成・リーダー養成を行う。

資料：農林水産省「6次産業化の取組事例集
(令和3年3月)」より抜粋



③ 有限会社ファームヨシダ

＜取組内容＞

自社配合のオリジナル飼料と阿蘇の地下水で育てた豚「えころん」を自社加工の精肉と委託加工のインナー・ソーセージ等として販売。

＜今後の展望＞

- ・Withコロナでの新たな生活様式を踏まえ、ネット販売の充実とキッチンカーを活用した新たな販路開拓。
- ・お客様からの要望である、自社豚肉をはじめ地域農業者の農産物を使った総菜を製造するため、加工場を建設中。
- ・地域の事業者と連携した商品開発を更に強化させ、地域の発展に寄与。

※数字は、市町村別認定事業者数
(R7年1月31日現在)

熊本県の地理的表示（G I）登録産品

「地理的表示保護制度」は、その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度です。

ビジネスにおいては、その地域ならではの要因と結び付いた品質、製法、評判、ものがたりといった、産品の強みや魅力が見える化され、国による登録やGIマークと相まって、効果的・効率的なアピール、取引における説明や証明、需要者の信頼の獲得を容易にするツールになります。



登録番号:8
名 称:くまもと県産い草
登 錄 日:2016/02/02
生 産 地:八代市、氷川町、
宇城市



登録番号:9
名 称:くまもと県産い草畳表
登 錄 日:2016/02/02
生 産 地:八代市、氷川町、
宇城市



登録番号:67
名 称:くまもとあか牛
登 錄 日:2018/09/27
生 産 地:熊本県



登録番号:74
名 称:菊池水田ごぼう
登 錄 日:2019/03/20
生 産 地:菊池市、合志市
大津町、菊陽町



登録番号:88
名 称:田浦銀太刀
登 錄 日:2019/12/10
生 産 地:芦北町田浦沖及
びその周辺海域(八代海)



登録番号:94
名 称:八代特産晩白柚
登 錄 日:2020/03/30
生 産 地:八代市、氷川町



登録番号:95
名 称:八代生姜
登 錄 日:2020/03/30
生 産 地:八代市、氷川町、
宇城市小川町海東地区、
美里町中央地区



登録番号:111
名 称:くまもと塩トマト
登 錄 日:2021/10/07
生 産 地:八代市、氷川町、
宇城市的干拓地



登録番号:151
名 称:やまえ栗
登 錄 日:2024/03/27
生 産 地:山江村



登録番号:158
名 称:くまもと踊る丹頂
登 錄 日:2025/01/30
生 産 地:熊本県

4 水田作 畑作 施設園芸

スマート農機等の導入による作業効率化と生産性の向上

①経営体の概要

- 所在地：熊本県上益城郡嘉島町下六嘉3726
- 経営体名：株式会社 藤瀬農園
- 栽培作物・作付面積
施設園芸(ミニトマト)：1.1ha(うち低コスト耐候性養液栽培ハウス70a)
土地利用型：主食用水稻10ha、小麦27ha、大豆15ha
- 従業員数：家族4名、(施設園芸及び土地利用型の専属担当者を配置)、フルタイム4名、パートタイム15名及び実習生(インドネシア)2名
計25名、R7.4から実習生(インドネシア)を2名追加予定

②導入技術・システム (商品名・サービス名と企業名)

- 統合環境制御システム(誠和:プロファインダーNext80)
- 二酸化炭素発生装置(誠和:真呼吸)
- 自動操舵農機(ヤンマー:オートトラクター)
- 自動操舵農機(ヤンマー:直進アシスト機能付き田植え機)

③導入の経緯

- 統合環境制御システム
低コスト耐候性ハウス内に設置導入して、ハウス内環境を植物にとって最適な環境に整えることで、安定生産と生産量の拡大を目的に導入。
- 自動操舵トラクター・直進アシスト機能付き田植え機
繁忙期は1日の作業時間が長くオペレーターの負担が大きいため、疲労蓄積、集中力の低下、作業クオリティーの低下、事故発生等懸念があつたため導入。

④導入に当たり活用した補助事業等 (国、県)

- 低コスト耐候性ハウス一式：令和2年度強い農業・担い手づくり総合支援交付金(国)
- 自動操舵トラクター・直進アシスト機能付き田植え機：令和2年度担い手確保・経営強化支援事業(国)

⑤導入してどうだったか (その1 導入前との比較、効果)

- 統合環境制御システム
これまで、勘や経験に頼っていた栽培から、データに基づいてハウス内環境を自動制御することにより、高品質なミニトマトの安定生産を実現。作業者の労力も軽減。
- 自動操舵トラクター・直進アシスト機能付き田植え機
自動操舵機能を活用することで、オペレーターの労働負荷軽減や作業クオリティーも安定。大豆や麦の播種条間隔も安定するため、播種以降の作業も効率的に行える。

⑥導入してどうだったか (その2 改善してほしい点、課題)

- 統合環境制御システム
制御システムは自動、手動が選択できるが操作はすべてパソコンで管理しているため、非常時(停電)は蓄電設備がないと機能不全となることが心配。
- 自動操舵農機
自動操舵の精度は高いが、通信料は年間契約。使用時期が限られているため月割の通信料を設定してほしい。



統合環境制御システム導入ハウス



自動操舵トラクター

熊本県内のスマート農業実践事例

果樹

草刈りロボットで省力化

資料: 九州農政局「スマート農業取組事例(令和7年12月)」

①経営体の概要

- 所在地: 熊本県球磨郡錦町
- 協議会名: 錦町スマート農業推進協議会
- 構成団体等: 球磨地域振興局、錦町、JAくま、NOSAI熊本、農業者2名
- 稼働台数 16 台 (令和6年度新規稼働2台)



③導入の経緯

- 錦町役場、球磨地域振興局等の担当者と連携し、果樹園においてスマート農業機器の導入により農作業の省力化を目指す。
町内の果樹農家に対して実演会(令和4年10月17日、約30名参加)を開催。傾斜に一番強いロボモアを選定。

④導入に当たり活用した補助事業等 (国、県)

- 町の単独事業
導入費用については、本体、電磁誘導線(エリアワイヤー)及び設置費、充電ステーション等を含め約80万円。
総費用の1/2を町が支援することにより、複数の農家が導入した。



⑤導入してどうだったか (その1 導入前との比較、効果)

- ロボット草刈機(ロボモア(全自動))
農作業の時間短縮や作業効率に繋がった。また、本体の後方に点滅等を装着することで、夜間はその光が動いてシカやイノシシ避けとして効果があるなど、生産者から高評価を得ている。

②導入技術・システム (商品名・サービス名と企業名)

【自律走行無人草刈機】

○ ロボモア(KRONOS) 和同産業株式会社

⑥導入してどうだったか (その2 改善してほしい点、課題)

- 障害物に接触する本体前方の強度の改善と、本体及びバッテリーの長寿命化をメーカーに要望している。

専門作業受注型

ドローンによる防除作業受託

水田作

① 概要

本野防除機械利用組合

これまで、水稻の防除は隣町の無人ヘリを利用してましたが、適期防除が出来なかつたため、ドローンを購入し、令和4年から水稻防除の受託作業を始めた。

【経営体の概要】

- ・水稻作業受託面積 約29ha
- ・受託戸数 21名
- ・組合員 13名
- ・オペレーター人数:5名
- ・導入機器:農業用ドローン2機(ヤンマー製・薬剤10リットル)及び周辺機器(充電器2台、バッテリー20本)



② サービス内容・期待される効果等

○サービス内容

- ・1回の防除作業は、2名以上で実施。
- ・料金:3,500円／10a(税抜き、農薬代は別途)
- ・作業時間:約1時間／ha(準備時間含む)

○期待される効果

- ・ウンカ等発生の場合でも、適期防除が可能

③ 支援実績等

- 水稻防除作業受託面積 R4...19ha→R6...29ha
- 防除作業だけでなく水稻の追肥作業も検討

④ 課題・今後の展開等

- 農業用ドローンの構造上、1回の飛行時間は約10分、充電に約40分要するため、飛行時間が延びるようバッテリーの強化を望む。
- 農薬散布前にドローンを水平に飛行させるための複雑な設定が必要のため、高齢者でも設定出来るようシステムの簡素化が必要である。
- 自動航行は、当地区が中山間地域では場が狭く高低差があるため自動航行システムの設定が複雑なことから使用していない。今後、このような地域でも自動航行が容易に出来るシステムの開発を望む。
- 障害物を回避するシステムが搭載されていることから、畦畔・法面の比率が高い中山間地域では、畦の草刈りが必要(畦畔の草に反応し、端までドローンが到達しない)であり、かなり労力の負担となっている。

⑤ 連絡先等(事業者)

水上村役場 産業振興課
(電話)0966-44-0314